

J-STAGE 運用マニュアル

早期公開のご利用について

<第 1.8 版>

令和 4 年 1 月

国立研究開発法人科学技術振興機構

変更履歴

No.	版	日付	区分	変更内容	変更箇所
1	1. 00	2012/3/31	新規	初版作成	
2	1. 10	2012/4/16	修正	作業に依頼書が必要であることを明示	1. はじめに
3	1. 20	2013/5/17	修正	依頼書名を「提供サービス利用申請書」に修正	1. はじめに
4	1. 20	2013/5/17	修正	図 1-1 を差替え	1. 3. 2. 印刷前公開
5	1. 20	2013/5/17	修正	「自力登載」を「本運用」に修正	2. 1. ご利用の条件
6	1. 20	2013/5/17	修正	データ形式「BIB」を「BIB-J」に修正	2. 3. 早期公開から通常公開までの作業の流れ
7	1. 20	2013/5/17	修正	「BIB、SGML」を「BIB-J、FULL-J」に修正	2. 4. データ形式
8	1. 20	2013/5/17	削除	2. 7. を削除	2. 7. 早期公開と通常公開の画面表示項目
9	1. 20	2013/5/17	削除	BIB ファイル作成に関する記述を削除	2. 8. JOI および DOI について
10	1. 20	2013/5/17	修正	表 2-1 を差替え	2. 9. JOI および DOI について
11	1. 20	2013/5/17	削除	2. 10. 1. を削除	2. 10. 1. その他 JST リンクセンター連携機能について
12	1. 20	2013/5/17	修正	項番を修正	3. 初めて早期公開する際の手順
13	1. 20	2013/5/17	修正	(5) 書誌画面(通常公開)にイメージ画像を挿入	4. 公開画面
14	1. 20	2013/5/17	修正	早期公開画面の変更箇所を明記	4. 公開画面
15	1. 30	2013/06/26	修正	表 2-1「資料コード/巻号 開始頁」を「資料コード/巻号 開始頁」に修正	2. 8. JOI および DOI について
16	1. 40	2014/03/13	削除	エラータに関する記述を削除	2. 10. 早期公開記事の訂正
17	1. 40	2014/03/13	修正	(6) PDF (通常公開) 注意書きで示している箇所を修正	4. 公開画面
18	1. 40	2014/03/13	削除	JOI に関する記述を削除	1. 2. 特徴 2. 8. DOI について 2. 8. 1. 論文番号について
19	1. 41	2015/4/1	修正	法人格を変更	表紙
20	1. 42	2016/08/16	修正	JST リンクセンターの名称変更 早期公開機能設定期間を変更 J-STAGE センターのアドレスを変更	2. 8 DOI について 3. 初めて早期公開する際の手順
20	1. 42	2016/10/03	修正	「学協会」から「発行機関」へ表記の変更	資料全体
21	1. 50	2017/11/27	修正	画面を新インターフェイスへ差替	資料全体
22	1. 60	2020/4/1	修正	文言統一	資料全体
23	1. 70	2020/12/25	修正	早期公開版管理機能対応	資料全体
24	1. 80	2022/1/	修正	早期公開の利用条件等追加	

早期公開のご利用について

目次

1. はじめに	1
1.1. 早期公開とは	1
1.2. 特徴	1
1.3. 早期公開と印刷前公開の違い	1
1.3.1. 早期公開	2
1.3.2. 印刷前公開	2
2. 早期公開のご利用	3
2.1. ご利用の条件	3
2.2. ご利用に当たっての注意	3
2.3. 早期公開から通常公開までの作業の流れ	3
2.4. データ形式	4
2.5. PDF	4
2.6. 早期公開を行う版について	4
2.7. 早期公開記事と通常公開記事の連携について	5
2.8. DOIについて	5
2.8.1. 論文番号について	6
2.9. PubMed掲載誌について	6
2.10. 早期公開記事の訂正	6
3. 初めて早期公開する際の手順	7
4. 公開画面	8

本書の著作権は、原則として国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）に帰属します。これらは、著作権法上認められた範囲において使用することは可能ですが、転載、複製、公衆送信、翻訳、商用利用などを行う際には、著作権者の承諾を得る必要があります。

1. はじめに

早期公開とは、採択された記事の速やかな公開を目的とした機能です。

機能の趣旨をご理解の上ご活用ください。

なお早期公開機能を利用するときには、「J-STAGE 提供サービス利用申請書」をご提出ください。

1.1. 早期公開とは

J-STAGE における早期公開 (Advance Publication) は以下のとおり定義されています。

審査・査読工程を経て掲載が決定していて巻、号、開始ページ等の書誌が未確定の記事を公開できる機能

1.2. 特徴

早期公開の特徴を以下に記します。

- ・ より早い情報発信が可能です
- ・ 査読・審査の済んだ採択記事を速やかに公開できます
- ・ 早期公開の記事は、通常公開された時点で公開画面の早期公開タブからは消されますが、通常公開記事から過去の版としてリンクされます
- ・ 早期公開記事の DOI は論文番号を用いて設定します
- ・ 早期公開記事の DOI は通常公開する記事に引き継がれます（変更はできません）

※ここで「通常公開」とは、巻・号・開始ページ等の書誌が確定した記事を公開することです。

1.3. 早期公開と印刷前公開の違い

多くの J-STAGE 登載誌は、冊子体の印刷・発行の後 J-STAGE で電子公開しています。

冊子体発行後に J-STAGE で公開する場合、採択から公開までの期間が長くなることもあり、利用者からは「より早い発表（公開）」を行いたいという要望がよせられるようになりました。それに応えて開発されたのが「早期公開」です。

「早期公開」は採択された原稿（例えば査読者のチェックや指示の書き込みが入ったままの Image PDF など 書誌が未確定のもの）を暫定で公開し、それを冊子体発行後に正式な原稿と差し替えて同じものとして流通させることができる機能です。

しかし、通常の J-STAGE 提供システムでも冊子体発行より早く J-STAGE で電子公開することができます。

この方法を「印刷前公開」と呼びます。この場合、巻・号・開始ページ等の書誌が確定していることが前提となります。

早期公開機能、印刷前公開のどちらをご利用になるかは、以下の解説をご確認の上、発行機関でご検討・ご判断ください。

1.3.1. 早期公開

早期公開は、審査・査読工程を経て採択となった記事、すなわち「掲載が決定していて巻・号、開始ページ等の書誌が未確定の記事」を公開できる機能です。

早期公開した記事は、巻・号あるいは開始ページ等の書誌が確定した後に必ず通常公開をします。

書誌未確定の記事を速やかに公開できるメリットはありますが、早期公開と通常公開の2回、編集・公開作業が発生するため、発行機関側の負担が増えるデメリットもあります。

早期公開のご利用には「提供サービス利用申請書」と早期公開スケジュールシートをJ-STAGEセンターにご提出いただく必要があります。

1.3.2. 印刷前公開

書誌確定後、冊子体発行前にJ-STAGEで電子公開することを指します。

冊子体発行を待たずに電子公開することにより、採択からJ-STAGEでの電子公開までの期間を短縮することができます。

データ作成完了次第、記事単位に順次公開することも可能です。

印刷前公開は書誌確定後に通常公開するものです。早期公開のように2回公開するものではありません。

印刷前公開のご利用にあたっては、申請書の提出等は必要ありません。

早期公開と印刷前公開の相違を図1-1に示します。

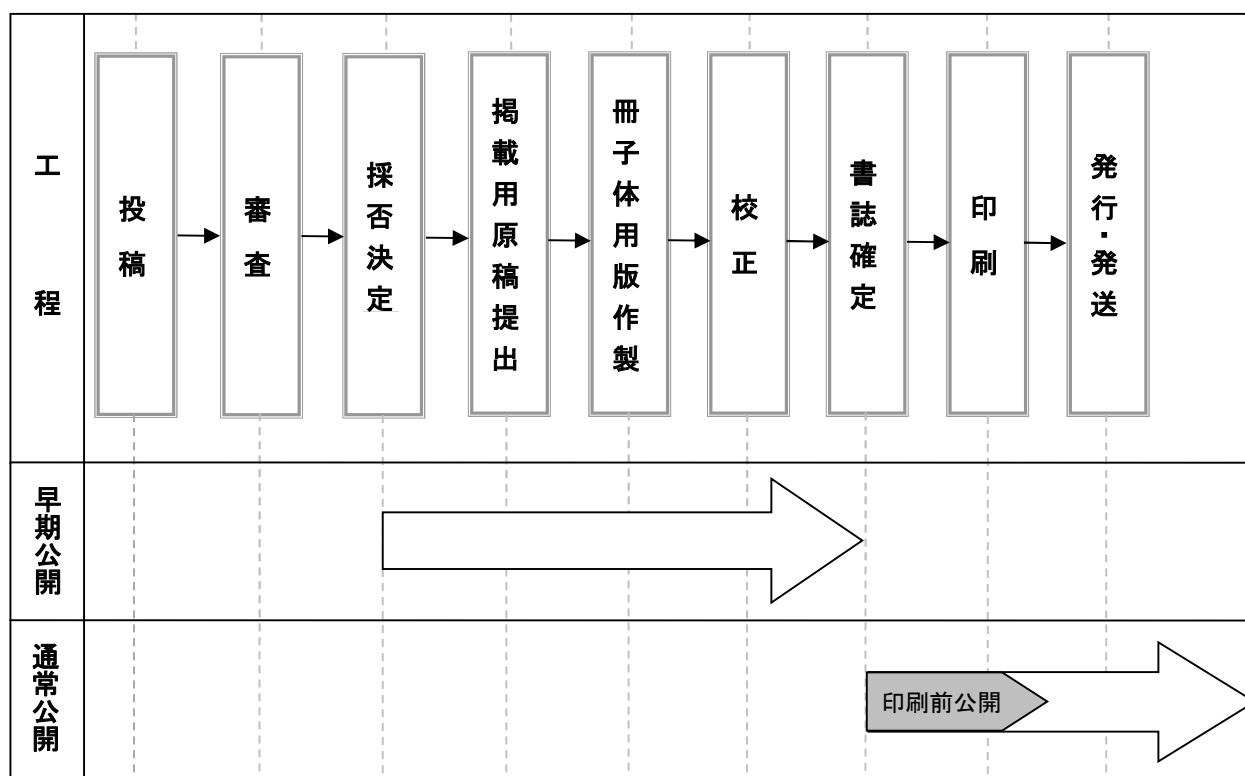


図 1-1 早期公開と印刷前公開

2. 早期公開のご利用

早期公開のご利用について以下に説明します。

2.1. ご利用の条件

- ・ 資料種別が「ジャーナル」であること
- ・ J-STAGE 掲載誌であること
- ・ 本運用に至っていること（初回公開が完了していること）
- ・ 早期公開後、通常公開することを前提であること

2.2. ご利用に当たっての注意

- ・ 早期公開機能のご利用は通常公開を前提としています。必ず通常公開してください
- ・ 早期公開はテスト公開ではありません
- ・ J-STAGE では早期公開記事と通常公開記事の内容に差異が無いことを前提としています

2.3. 早期公開から通常公開までの作業の流れ

早期公開記事の編集から早期公開および通常公開に至るまでの大まかな作業の流れについて説明します。（冊子体発行後に通常公開する例）

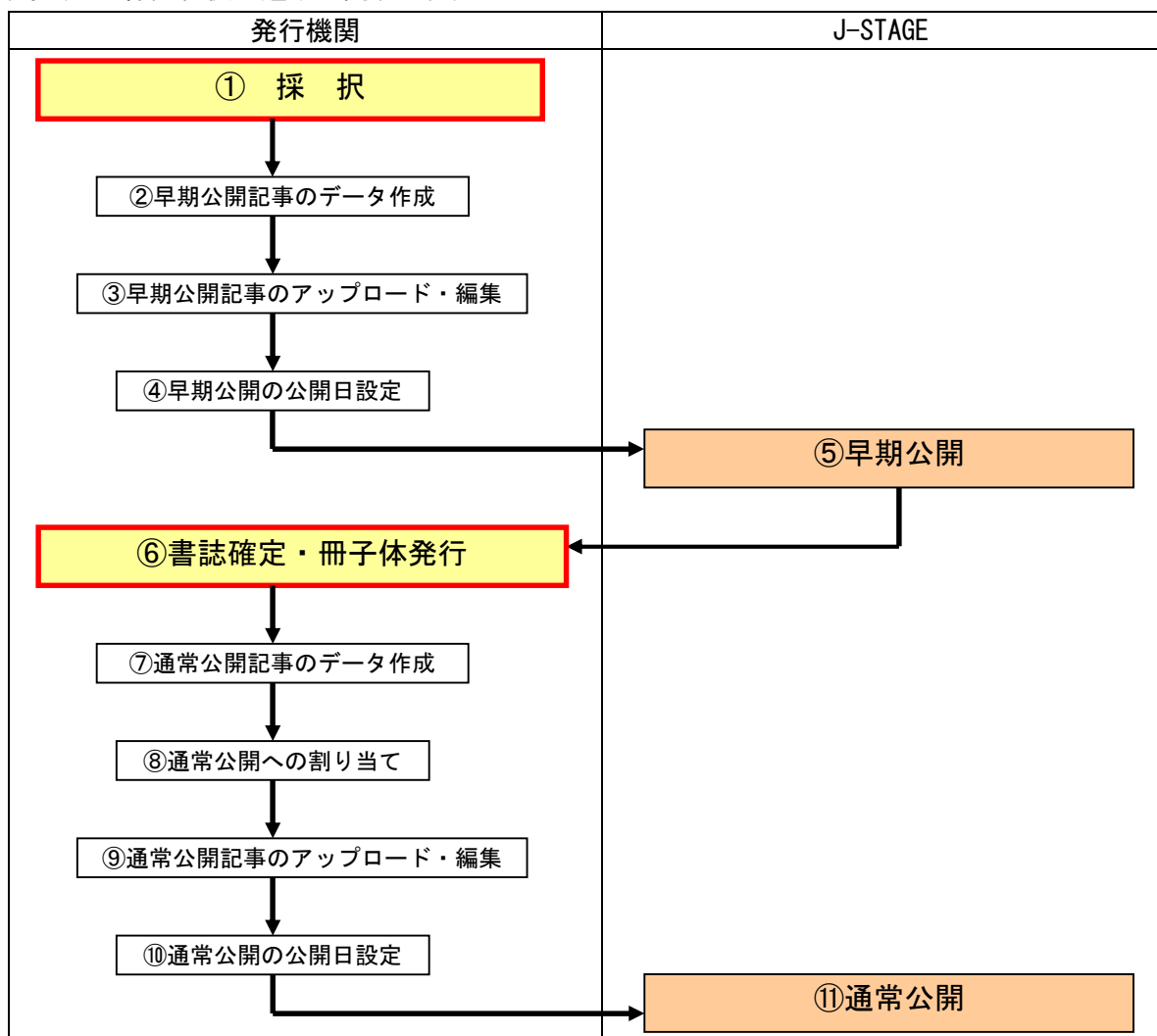


図 2-1 早期公開から通常公開までの作業の流れ

- ① 原稿が採択となり掲載が決定する
- ② 早期公開用のデータ (XML・PDF 等) 作成
- ③ 早期公開用のデータをアップロードし、プレビューおよび編集を行う
- ④ 早期公開日を設定する
- ⑤ J-STAGE で早期公開
- ⑥ 早期公開した記事の書誌 (巻・ページ等) が確定し、冊子体を発行する
- ⑦ 通常公開用のデータ (XML・PDF 等) 作成
- ⑧ 早期公開した記事を通常公開する巻・号に割り付け作業
- ⑨ 通常公開用のデータをアップロードし、プレビューおよび編集を行う
- ⑩ 通常公開の公開日設定
- ⑪ J-STAGE で本公開

※公開されたデータは、発行機関の著作物となります。公開される際は、十分にプレビュー確認をしていただきますようお願いいたします

2.4. データ形式

早期公開用データは、BIB-J 形式もしくは FULL-J 形式となります。

2.5. PDF

早期公開時、通常公開時の PDF には下記の要素の記載が必要です。

なお、PDF のセキュリティ設定 (変更可否・印刷可否など)、文章、記載個所については発行機関のご判断で決定してください。

- 早期公開 PDF
 - ・ 資料タイトル (登載誌編集委員会名・責任者名の記載も可)
 - ・ J-STAGE での早期公開記事である旨の注意書き
 - ・ J-STAGE での早期公開日

※PDF に巻・号・頁は記載しないで下さい。
- 通常公開 PDF
 - ・ 資料タイトル (登載誌編集委員会名・責任者名の記載も可)
 - ・ J-STAGE での早期公開記事である旨の注意書き

※記事の公開日を確定するためのもので、知的財産権上、重要になります。

 - ・ J-STAGE での早期公開日

2.6. 早期公開を行う版について

どの段階の記事を早期公開するかについては発行機関のご判断で決定してください。

- 例) ・ 採択された著者の最終原稿 (校正前)
- ・ 英文校閲後の著者最終原稿
 - ・ 校正は終了したが書誌が未確定の原稿

2.7. 早期公開記事と通常公開記事の連携について

通常公開を行うと早期公開目次一覧画面から早期公開記事が無くなります。ただし、早期公開記事が完全に J-STAGE 上から無くなるのではなく、通常公開の書誌画面にリンクが生成され、早期公開時の書誌情報・全文 PDF を閲覧することができます。

2.8. DOI について

早期公開機能の導入により DOI 組み立てルールが変更となります。

現状 多くの資料で「資料コード. 巻. 号_開始頁」型が採用されていますが、早期公開記事は巻・開始ページが確定していないため、この型では DOI を組み立てることができません。

巻・開始ページに代わって、論文番号を使用します。

早期公開機能利用後の DOI の組み立ては「資料コード. 論文番号」になります。

早期公開を行わない記事についても DOI の組み立てルールが「資料コード. 論文番号」になりますので、早期公開を利用しない記事についても論文番号を付与する必要があります。

なお、早期公開した記事の DOI を通常公開時に変更することはできません。早期公開時に付与した DOI が引き継がれます。

表 2-1 早期公開機能利用時の DOI

早期公開機能	記事	DOI
利用前	通常公開	資料コード. 巻. 号_開始頁
		資料コード. 巻. 号_開始頁
利用後	早期公開	資料コード. 論文番号
	早期公開後の通常公開	資料コード. 論文番号 (早期公開と同じ DOI)
	通常公開	資料コード. 論文番号

※早期公開を利用しない記事にも論文番号が必要となります。

2.8.1. 論文番号について

早期公開記事は、発行機関側で決定・管理する論文番号を用いた DOI で流通することになります。

そのため、論文番号は当該論文誌内でユニークでなければなりません。

論文番号は最大 32 桁の半角英数字および半角記号で表記します。

論文番号に使用可能な文字の一覧を表 2-2に示します。

表 2-2 論文番号に使用可能な文字

文字
"-" (ハイフン)
". " (ピリオド)
"0" ~ "9"
"A" ~ "Z"
"a" ~ "z"
"_" (アンダースコア)

なお、J-STAGE の編集システムでは論文番号の重複チェックを行います。重複を発見した場合にはエラーメッセージ画面にその旨の表示を行います。

2.9. PubMed 登載誌について

PubMed 登載誌の場合、J-STAGE で早期公開されている書誌未確定の論文を PubMed で即時公開することが可能です。

また PubMed から J-STAGE で早期公開されている記事への LinkOut も実現されます。

巻・号・開始ページ等の書誌情報が確定し、通常公開を行いますと PubMed 側のデータも更新され、通常公開の抄録画面に LinkOut されるようになります。

※LinkOut の表示には申請が必要です

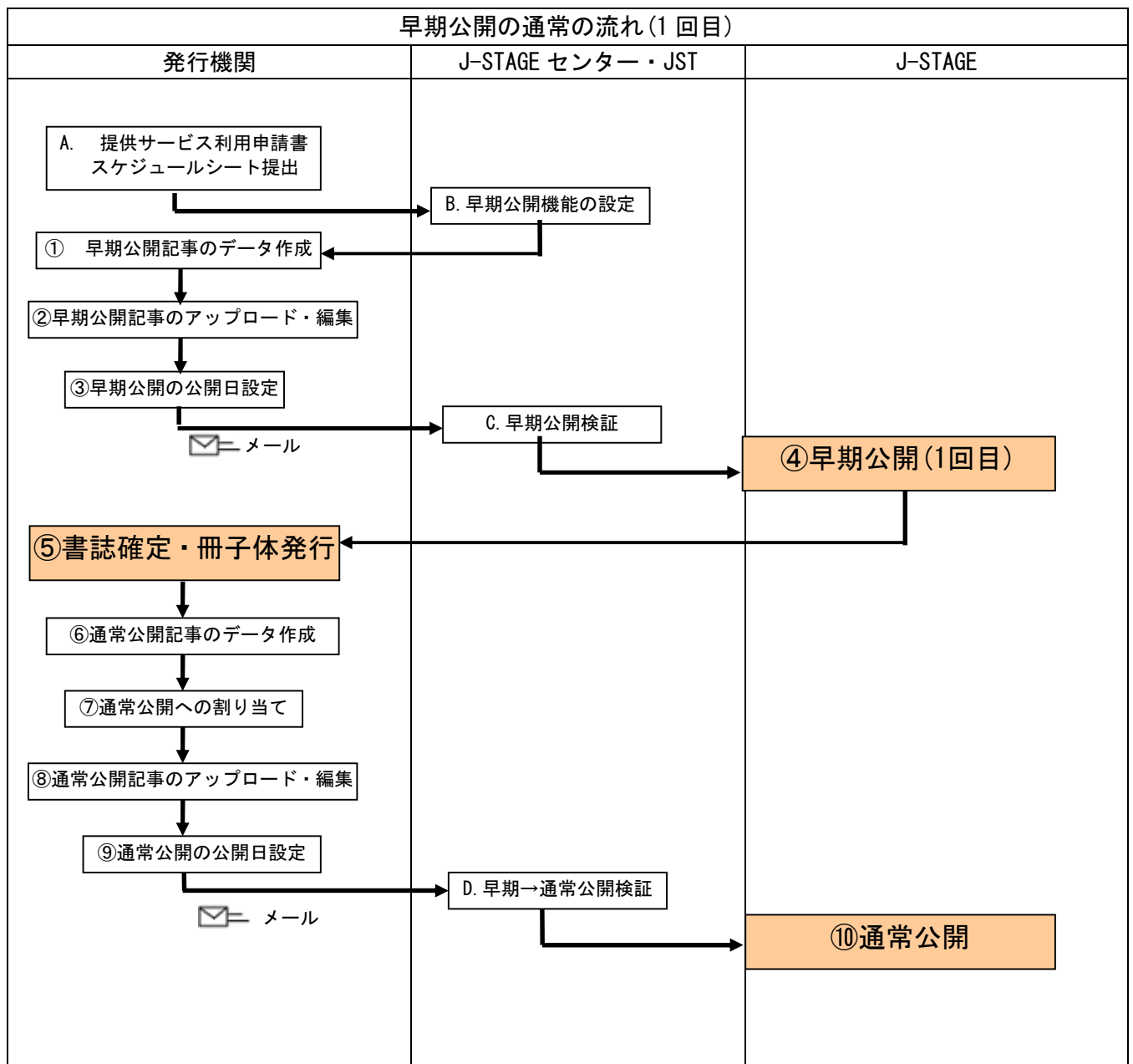
2.10. 早期公開記事の訂正

早期公開記事、特に校正前の著者原稿を登載した場合は、書誌情報、抄録、参考文献その他が変更された版がある場合があります。これらは早期公開版管理機能を用いて改版します。

3. 初めて早期公開する際の手順

初めて早期公開記事をアップロードする際は J-STAGE センターからのサポートを受けながら、作業を進めることになります。

表 3-1 早期公開 1 回目の作業の流れ



- A. 早期公開の利用申請書(提供サービス利用申請書)とスケジュールシートを J-STAGE センターへ提出します
- B. スケジュールシートの日程を元に、早期公開機能の設定を J-STAGE センター側で行います。
- C. 初めての早期公開についてはセンター側でデータやシステムの検証を行います。早期公開の公開日設定が完了しましたら、J-STAGE センター(center@jstage.jst.go.jp)にご連絡ください
- D. 初めて早期公開済み記事を通常公開する際も J-STAGE センター側で検証を行います。通常公開の公開日設定が完了しましたら、J-STAGE センター(center@jstage.jst.go.jp)にご連絡ください

4. 公開画面

早期公開に関連する公開画面のサンプルを示します。

(1) 資料一覧

資料一覧

ジャーナルを資料名で検索する ジャーナルを分野で検索する ジャーナルを発行機関で検索する

J-STAGEトップ / 資料一覧

資料名別一覧

検索フィルタ

すべての検索フィルターをリセットする

資料種別

- ☐ ジャーナル (2,118)
- ☐ 会議論文・要旨集 (232)
- ☐ 研究報告・技術報告 (30)
- ☐ 解説誌・一般情報誌 (16)
- ☐ その他 (1)
- ☐ 新着のみ (30日以内)

リセット

査読有無

全リスト

A-B	C-E	F-I	J	K-P	Q-Z	あ	か	さ	た	な	は	まわ
Journal	A-C	D-I	J-M	N-P	Q-S	T-Z						
日本	A-C	D-I	J-M	N-P	Q-S	T-Z	あか	さ-た	な-は	ま-や	ら-わ	

2397件中121~140の結果を表示しています

表示 20 件

C-E

Circulation Journal

Vol. 66 (2002) - Vol. 81 (2017)

ジャーナル 査読 認証なし HTML **早期公開**

Clay Science

(2) 資料トップ

情報管理

収録数 10,026本
(更新日 2017/10/01)

Online ISSN : 1347-1597
Print ISSN : 0021-7298

国立研究開発法人 科学技術振興機構 に掲載

ジャーナル 査読 フリー HTML

資料トップ **早期公開** 巻号一覧 この資料について

J-STAGEトップ / 情報管理 / 資料トップ

60 卷 (2017) 7 号

過去の巻号を選ぶ

次世代人工知能へのアプローチ：シリコン神経ネットワーク

編集後記

この本！ おすすめします アルスエレクトロニカ：芸術と社会の関係性の再定義に向けて

投稿規定

RSSフィード(号)

RSSフィード(論文)

(3) 早期公開一覧画面

情報管理

資料トップ 早期公開 巻号一覧 この資料について

J-STAGEトップ / 情報管理 / 早期公開

早期公開論文

早期公開論文

最終公開版論文が発行・公開される前の論文をオンラインで提供しています。

早期公開論文の1件中1～1を表示しています

メタデータをダウンロード すべての抄録を表示する

< 1 >

学術情報流通の促進に関する考察と、電子ジャーナル出版

山田花子, 田中太郎

論文ID: 20-012

発行日: 2021年

早期公開 公開日: 2020/12/18

DOI <https://doi.org/10.1241/johokanri.20-012>

ジャーナル フリー 早期公開

抄録を表示する PDF形式でダウンロード (689K)

(4) 早期公開 PDF (早期公開中)

Original Article

学術情報流通の促進に関する考察と、電子ジャーナル出版

山田花子¹, 田中太郎¹

¹ 国立研究開発法人 科学技術振興機構

情報管理

J-STAGE 早期公開 : 2020 年 12 月 18 日

要旨

日本の科学技術研究を国際的なレベルに保ち発展させていくためには、優れた研究開発成果をいち早く世界に向けて発信していくことが重要です。そのためには、現在利用機関でおこなわれている紙の出版物としての学会誌、論文誌の発行を電子化し、インターネット上で公開していくことが重要です。

独立行政法人科学技術振興機構 (JST) が構築した「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE) では利用機関の情報発信機能を支援するため、電子ジャーナル出版に必要なハードウェア・ソフトウェアを JST 内に用意し、24 時間年中無休で運用をおこないます。利用機関はそのハードウェア、ソフトウェアを利用して、現在発行中の学会誌、論文誌を容易に、かつ低コストで電子化できます。電子化した論文はこのシステムにより、世界中どこからでもアクセスできるようになります。

KEY WORDS : J-STAGE, ...

1. J-STAGE の開発目的

科学技術情報の投稿から公開までのプロセスを短縮し、インターネット上に構築することにより迅速化と国際化を図ります。

具体的な取り組みとして:

- * 学術雑誌の電子ジャーナル化を支援
- * 日本の科学技術情報の電子化を促進
- * 電子ジャーナルの特長を活かした科学技術情報の発信
- * インターネットによる科学技術情報流通の促進
- * 研究成果の迅速な発信・流通による国内外での研究評価の向上
- * 研究成果の迅速な発信・流通による研究開発の促進
- * 引用情報のリンクによる研究情報の効率的な利用

早期公開のPDFには下記の記載が必要です。

- 論文誌名 (論文誌編集委員会名・責任者名の記載も可)
- J-STAGEでの早期公開記事である旨の注意書き
- J-STAGEでの早期公開日

... 確的研究、新技術開発と研究交流の促進等の業務を実施してきた新技術事業団(1961年7月設立)が統合し、これまで両法人がすすめてきた事業を継承・発展させるとともに、科学技術基本法の成立(1995年11月15日公布)を受け、科学技術振興のための基盤整備と先端的・独創的な研究開発の推進並びに科学技術理解増進事業の推進を目的として1996年10月1日に設立されました。

2003年10月より科学技術振興事業団は独立行政法人科学技術振興機構に移行しました。

(5) 書誌画面 (通常公開)

情報管理

[資料トップ](#)
[早期公開](#)
[巻号一覧](#)
[この資料について](#)

J-STAGEトップ / 情報管理 / 67 巻 (2020) 2 号 / 書誌

原著

学術情報流通の促進に関する考察と、電子ジャーナル出版

山田 花子, 田中 太郎

[+ 著者情報](#)

ジャーナル
フリー

2020 年 67 巻 2 号 p. 159-170

DOI <https://doi.org/10.1241/johokanri.20-012>

[Browse "Advance Publication" version.](#)

[詳細](#)

- 発行日: 2020 年
- 公開日: 2020/12/21
- [早期公開] 公開日: 2020/12/18
- 受付日: -
- 受理日: -
- 改訂日: -

PDFをダウンロード (364K)

メタデータをダウンロード

[RIS形式](#)
(EndNote, Reference Manager, ProCite, RefWorksとの互換性あり)

[BIB TEX形式](#)
(BibDesk, LaTeXとの互換性あり)

[テキスト](#)

メタデータのダウンロード方法

発行機関連絡先

(6) PDF (通常公開)

<p>Original Article</p>	<p>情報管理 J-STAGE 早期公開：2020 年 12 月 18 日</p>
<p>学術情報流通の促進に関する考察と、電子ジャーナル出版 山田花子¹，田中太郎¹ ¹ 国立研究開発法人 科学技術振興機構</p>	
<p>要旨 日本の科学技術研究を国際的なレベルに保ち発展させていくためには、優れた研究開発成果をいち早く世界に向けて発信していくことが重要です。そのためには、現在利用機関でおこなわれている紙の出版物としての学会誌、論文誌の発行を電子化し、インターネット上で公開していくことが重要です。 独立行政法人科学技術振興機構（JST）が構築する学術情報流通機能を支援するため、電子ジャーナル出版に必要となるハードウェア、ソフトウェアの整備を支援いたします。利用機関はそのハードウェア、ソフトウェアの整備ができます。電子化した論文はこのシステムに</p>	<p>※通常公開の PDF には、J-STAGE で早期公開済みであることを記載してください</p>
<p>KEY WORDS : J-STAGE, www, Internet, Electronic Journal</p>	
<p>1. J-STAGE の開発目的 科学技術情報の投稿から公開までの一貫した流れをインターネット上に構築することにより、科学技術情報の発信と流通の迅速化と国際化を図ります。 具体的な取り組みとして： * 学術雑誌の電子ジャーナル化を支援 * 日本の科学技術情報の電子化を促進 * 電子ジャーナルの特長を活かした科学技術情報の発信 * インターネットによる科学技術情報流通の促進 * 研究成果の迅速な発信・流通による国内外での研究評価の向上 * 研究成果の迅速な発信・流通による研究開発の促進 * 引用情報のリンクによる研究情報の効率的な利用</p>	<p>2. 沿革 科学技術振興事業団（JST）は、科学技術情報の流通の業務を実施してきた日本科学技術情報センター（1957年8月設立）と基礎的研究、新技術開発と研究交流の促進等の業務を実施してきた新技術事業団（1961年7月設立）が統合し、これまで両法人がすすめてきた事業を継承・発展させるとともに、科学技術基本法の成立（1995年11月15日公布）を受け、科学技術振興のための基盤整備と先端的・独創的な研究開発の推進並びに科学技術理解増進事業の推進を目的として1996年10月1日に設立されました。 2003年10月より科学技術振興事業団は独立行政法人科学技術振興機構に移行しました。</p>